

アンダー・ウォーター・ワールド

ここはセントーサ島にあるシンガポール最大の水族館。数千種類の多種多様な熱帯の海洋生物が鑑賞できる。入口をくぐると小さな池に海ガメが迎えてくれた。周りを見渡すと南国ムードたっぷりのヤシの木や熱帯植物で覆われていた。

イルカショーが始まる時間が迫っていたため、急いでドルフィン・ラグーンに向かう。愛らしいピンクドルフィンが調教師との見事な呼吸で妙技を演じてくれる。日本（神戸須磨水族園ほか）の洗練されたイルカショーに比べてレベルは劣るものの、ドルフィンと人間とのコミュニケーションの素晴らしさに感心させられた。更にオットセイの曲芸はユーモアたっぷりの演技に、世界各国からの観客も拍手喝采であった。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまうものだ。



このもう一つの見ものは何とんでもアンダー・ウォーター・ワールドであろう。巨大な水槽の底を全長 83mの透明アクリルトンネルを通り抜ける。足元は「回転すし」が回るようなベルトの上になり、居ながらにして何周でも楽しめる。海中散歩の気分はまるで海底の世界に迷い込んだような錯覚を覚える。

ちょうどダイバーが餌付けをしている最中であつた。巨大で獰猛そうに見えるサメが餌に激しく食らい付いていく。その他、珍獣のジュゴンやマンタも見られ、大型の魚から色鮮やかな熱帯の魚まで悠然と泳いでいる。

1991年の開館以来、入場者は2000万人を超えている。ここは大人も子供にも夢いっぱい「素晴らしい海の世界」を演出してくれる水族館であるようだ。 撮影 2011年夏

